

議会だよりは市民のみなさんと議会をつなぐ「かけはし」です  
ぜひ御一読を



かつなりくん

# かりや

# K

# 市議会

# だより

〈第143号〉

～刈谷市議会は、議会基本条例を制定し「市民に開かれた議会」・「市民に信頼される議会」を目指して議会活性化に取り組んでいます。～



**災害用トイレトレーラー保有に向け、クラウドファンディングを活用!!**

**全国2番目**  
他市に先駆け「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」に参加 (関連2ページ)

住みたい、住み続けたい刈谷市を目指して  
各委員会で先進都市を視察 (関連4～5ページ)

**刈谷市の未来を担う市内の中学3年生が議会を体験**  
～図書館の新設を題材に、白熱した討論を展開～

※生徒の感想を5ページに掲載

地方自治制度学習 平成29年10月26日～11月10日 刈谷市役所9階 本会議場

主な記事

議決した議案	2～3
委員会の動き	4
委員会視察の報告	4～5
一般質問	6～8

## 12月定例会のあらまし

この定例会は12月6日に招集され、会期17日間で、12月22日に閉会しました。今回は議案など20件と請願4件が提出されました。

主な議案は刈谷市個人情報保護条例の一部改正についてなどです。

◆12月6日～8日 本会議 (議案の大綱説明、一般質問)  
市長から提出された議案についての説明を受けた後、一般質問に入りました。

◆8日 本会議 (議案説明、委員会付託)  
損害賠償の額を定める専決処分、一般会計補正予算(第3号)の専決処分及び人権擁護委員の候補者の推薦についてが審議されました。その後、刈谷市個人情報保護条例の一部改正についてなど9議案について説明を受け、関係する委員会で審査することにしました。

次に、平成29年度補正予算関係8議案について説明を受けた

◆12月6日～8日 本会議  
後、予算審査特別委員会を設置して審査することにしました。

◆8日 予算審査特別委員会  
予算議案は各分科会を設置して審査することにしました。

◆12日～15日 委員会審査  
議案や請願・陳情が審査され、委員会での採決が行われました。

◆21日 予算審査特別委員会  
予算議案の採決が行われました。

◆22日 本会議 (採決)  
各委員長より、委員会での審査の経過と結果が報告されました。一部の議案について、反対意見がありましたが、採決の結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

次に、請願について討論の後、採決しました結果、請願4件はいずれも不採択となりました。

12月定例会での傍聴者数は延べ108人です。

**★傍聴をお待ちしています★**

**\* 3月定例会の開催予定 \***

2月13日 (火)	議会運営委員会 (運営を協議)
15日 (木)	本会議 (施政方針、議案説明など)
28日 (水)	本会議 (質問質疑)
3月1日 (木)	本会議 (質問質疑)
2日 (金)	本会議 (質問質疑)
	予算審査特別委員会
7日 (水)	企画総務委員会・分科会
8日 (木)	福祉産業委員会・分科会
9日 (金)	建設委員会・分科会
12日 (月)	市民文教委員会・分科会
22日 (木)	予算審査特別委員会
	議会運営委員会 (運営を協議)
23日 (金)	本会議 (委員長報告・採決など)

各会議は10時から17時まで(進行状況などにより、変更する場合があります)。傍聴の際は、当日次の受付へ。  
本会議：市役所10階、傍聴受付  
委員会：市役所9階、議会事務局受付

○託児を希望される方へ(生後6ヶ月以上の未就学児、先着順)  
臨時保育室「カンガルールーム」をご利用できます。  
傍聴希望日の3日前までに議会事務局までご連絡ください。

○手話通訳・要約筆記を希望される方へ  
傍聴希望日の1週間前までに議会事務局までご連絡ください。

○質問質疑等KATCH放送(地上デジタル11チャンネル)  
2月19日(月)、3月6日(火)、13日(火)、16日(金)  
詳しくはチャンネルガイドをご覧ください。





# 主な議案

## 12月 定例会

今回は、刈谷市個人情報保護条例の一部改正についてなどです。質疑については、主なものを中心に、要約して掲載します。

### 条例議案

■刈谷市個人情報保護条例の一部改正について

【問】 条例改正で、個人情報の取り扱いがどのように変わるのか。

【答】 人種、信条など不当な差別や偏見が生じるおそれがある個人情報に要配慮個人情報と定め、取得した情報をより高い意識を持って適正に扱うこととなる。今後、何が要配慮個人情報に該当するのか、洗い出しを行うことになる。

■刈谷市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

【問】 条例改正の内容は。

【答】 1点目は、非常勤職員の育児休業の対象となる子の年齢が、現行の「1歳6か月まで」から「2歳まで」に法律が改正されたため、2歳まで取得できる場合を条例で定めるものである。2点目は、育児休業の再取得、再度の延長及び育児短時間勤務の再取得を認める特別な事情として、保育所に入所できない場合を明記するものである。

【その他、人事院勧告に鑑み、議員及び特別職に属する職員の期末手当の支給率を引き上げる条例改正について、人事院勧告には必ず従わなければならないという拘束力はないため、据え置いたままではどうかなどの反対意見がありました。いずれも原案のとおり可決されました。

### 単行議案

■工事請負契約の締結について（住吉幼稚園移転新築（建築）工事）

住吉幼稚園を移転新築します。構造  
鉄筋コンクリート造り地下1階地上2階建て

面積  
2,701平方メートル

請負契約金額  
5億695万2千円

契約の相手方  
アイシン開発株式会社

工期  
平成30年12月25日まで



移転前の住吉幼稚園

【問】 新園舎の特徴は。

【答】 片側廊下式ではなく、中央廊下式を取り入れる。廊下にオープンスペースを設け、遊戯室を1階に配置することで、クラス間、世代間の交流を促すとともに、雨天時でも園舎内で園児が体を動かす遊びができるようにする。また、ソーラーパネルを設置するほか、ピロティ駐車場を地下1階に設ける。

■指定管理者の指定について（南部生涯学習センター及び北部生涯学習センター）

指定管理者  
刈谷市都市施設管理協会

指定の期間  
平成30年4月1日から  
平成35年3月31日まで



北部生涯学習センター

【問】 選定理由に管理実績と経費の削減とあるが、具体的には。

【答】 北部生涯学習センターの利用者アンケートで、「満足」「やや満足」と回答した方は97%となっている。このことから運営実績は良好と判断している。また、経費面では、年間約600万円の削減が図られている。

【問】 他市においてこのような施設は指定管理者を公募し、民間業者を交えて競争させているが、なぜ任意指定なのか。

【答】 南部生涯学習センターと北部生涯学習センターの主な業務は、施設の運営・維持管理である。北部生涯学習センターにおいて、適正な管理運営実績があり、高齢者雇用の創出に寄与することともに、経費等の抑制も図られることから、都市施設管理協会に任意指定することが適切であると考えている。

### 補正予算議案

全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、関係する分科会で審査されました。

12月21日に再度予算審査特別委員会を開催し、各分科会での審査結果について各委員長より報告を受け、22日の本会議において原案のとおり可決しました。

補正する額（一般会計）  
6,554万2千円  
補正後の予算総額（一般会計）  
584億1,494万7千円  
補正後の予算総額（全会計）  
930億1,783万5千円

#### 【主な事業】

○災害派遣トイレネットワークプロジェクトに参画するため、民間事業者が企画するクラウドファンディングを活用して寄附の購入資金を確保します。



トイレトレーラー（イメージ）

【問】 トイレトレーラーが備えている機能は。

【答】 給水タンク及び汚水タンクを備えており、水道が止まった場合や下水道が使用できない場合でも水洗トイレとして利用することができる。トイレトレーラー1台に4つの個室があり、約1,200から1,500回分の利用が可能である。また、

屋根に設置されている太陽光パネルで充電可能なバッテリー電源と照明を確保しているため、夜間も安心して利用できる。

【問】 トイレトレーラーの本体価格は。

【答】 約1,400万円である。

【問】 クラウドファンディングを実施する意味は。

【答】 クラウドファンディングを行うことにより、インターネットを通じて「災害派遣トイレネットワークプロジェクト」を全国に発信することができ、災害時のトイレ問題の解決法の1つとして市域を越えて賛同が期待されること。また、今後全国の自治体がプロジェクトに参加する際にトイレトレーラー購入の財源確保の手段として参考にしてもらうためである。

【問】 クラウドファンディングの目標額は。

【答】 500万円を予定している。

【問】 クラウドファンディングの期間は。

【答】 平成30年1月から3月を予定している。

【問】 目標額に達しなかった場合や寄附期間内に目標額に達した場合は、どうするのか。

【答】 目標額に達しなかった場合は、公費を充当して事業を実施する予定である。また、期間内に目標額に達した場合も寄附募集は継続する予定である。



賛同者を募ります

○刈谷駅前の喫煙施設を移設します。



喫煙施設の移設予定場所

【問】 移設場所はどこか。

【答】 刈谷駅北口と南口に1カ所ずつ整備を予定している。北口については、駅前広場内の「刈谷駅北口広場駐車場」の一部区画に、南口については「刈谷駅南口広場駐車場」の南側に移設を予定している。

【問】 喫煙施設の規模は。

【答】 北口、南口それぞれ約50平方メートルの規模を計画している。この規模は、30人程度が同時に利用できる大きさである。また、煙の拡散を防止するため、高さ3メートルのパーテーションで囲う構造を予定している。

【問】 設置する時期は。

【答】 今年度末の完了を予定している。

○高齢者福祉センターの駐車場を拡張整備します。

【問】 12月に補正をする理由は何か。

【答】 現在、高齢者福祉センターの駐車場は、敷地内及び施設周辺に4カ所、159台分あるが、高齢者交流プラザでの講座の参加者、浴場利用者等、1日当たりの平均利用者は35





# 市とすするため

## 各委員会で先進都市を視察～

※印が掲載した項目です。

### ◆福祉産業委員会（10月11日～13日）

- ※岡山県津山市 つやま産業支援センターの取り組みについて
- 山口県周南市 もやいネットセンター推進事業について
- 香川県高松市 高齢者居場所づくり事業について

### ◆企画総務委員会（10月11日～13日）

- ※京都府亀岡市 セーフコミュニティ推進事業について
- 兵庫県姫路市 地域防災力向上の取り組みについて
- 兵庫県川西市 PFI事業について

#### 市内経済の成長・雇用創出の取り組み

－各企業の技術力を活かし、ブランド化－

福祉産業委員会委員長 外山 鉦一

#### 目的

市内経済の成長、雇用の維持創出を目的として設置された「つやま産業支援センター」の取り組みについて学ぶ。

#### 視察内容

優れた人材を登用するため、全国から公募し採用された統括マネージャーを中心に、積極的に市内の企業を訪問している。各企業が持つ「高い技術力」を引き出し、依頼があれば、同業者及び異業者をつなぎ、自社技術に限界があっても対応可能業者へ情報提供するなど協働による相乗効果で経済効果を創出しており、メイドイン津山のブランド化を進めている。

#### 所感

本市の中小企業の多くは自動車部品関連で、常に生産性向上とコスト削減に取り組んでおり、その中で培われた高い技術力を持っている。その技術力を顕在化させ、自動車部品以外にも活路を見出すことは、産業振興のキーワードである。介護、医療、航空、IT、環境などへの技術力の活用、そして津山市のように企業間で横の展開を図っていくことは、メイドイン刈谷につながる。本市においても関係機関と連携しながら、企業の実情を理解した実効性のある支援が今後有効であると感じた。



つやま産業支援センターを視察

#### セーフコミュニティ活動の推進

－安心・安全に暮らせるまちづくり－

企画総務委員会委員長 清水 俊安

#### 目的

安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを多くの主体の協働により進める亀岡市のセーフコミュニティの取り組みについて学ぶ。

#### 視察内容

亀岡市では、平成20年3月に日本で初めてセーフコミュニティの国際認証を取得し、事故やけがは偶然ではなく、予防できるという理念のもと、行政と地域住民などの協働により、全ての人たちが安心・安全に暮らすことのできるまちづくりを推進している。平成25年2月には国内初めての再認証を取得。現在、国内で14の自治体が認証を取得している。

#### 所感

亀岡市の取り組みとして、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりを目標に6つの対策委員会を設置し、市民・行政・団体等が共通の問題意識を持ち、協働で活動を進めることで、刑法犯認知件数や交通事故件数・負傷者数が約50%減少するなど、確実に成果をあげている。経費がかかる認証を取得することが必ずしも必要とは言わないが「日本一安心安全なまち」を目指している本市においても、市民・行政・団体等が協働で進めるセーフコミュニティの個々の取り組みは大いに参考になると感じた。



セーフコミュニティについて学ぶ

### 委員会の動き

委員会では、議案、請願、陳情の審査のほか、主に次のことが話し合われました。

#### 企画総務委員会

##### 刈谷駅前交番の建て替え

**問** 現在建て替え中だが、防犯機能などが低下していないか。

**答** 街頭活動の拠点を刈谷駅周辺に置き、これまでと同様、事件、事故、困り事相談などの対応をしていた。30年9月までは、建て替えにより交番機能は強化されるのか。

**答** 駐車スペースが車2台分確保され、地域の方との相談、会合等にも活用できるコミュニティルームも新たに設置され、これまで以上に地域に開かれた交番として機能が強化される。

その他「防犯カメラ」「JR刈谷街道踏切の逆走」「選挙」などが話し合われました。

#### 福祉産業委員会

##### 国民健康保険制度の県単位化

**問** 県単位化によることで、被保険者にはメリットがあるのか。

**答** 財政基盤が大きくなることにより、財政運営が安定し、被保険者にとっても保険料負担の増減が起これにくくなる。また、持続可能な医療保険制度を構築するため、国は国民健康保険に対し、財政支援の拡充を行い、被保険者の負担の軽減が図られることになる。

その他「中小企業支援体制」「井ヶ谷町のグループホーム」「みんなのメダルプロジェクト」「生活保護の状況」「路上喫煙防止」などが話し合われました。

#### 建設委員会

##### JR刈谷駅ホーム拡幅

**問** 平成29年度の進捗や今後の見通しは。

**答** 平成29年1月にJR東海と締結した設計に関する協定書に基づき、上下線ホームの拡幅、ホームドアの設置などの検討を行っている。30年9月までは、工法、工事費の算出、今後のスケジュールなどの整備計画をまとめ、JR東海と工事協定を締結していく予定である。

その他「西三河都市計画駐車場第11号神田駐車場の都市計画決定」「バスロケーションシステム」「フローラルガーデンよさみ」「都市交通計画調査推進事業」などが話し合われました。

#### 市民文教委員会

##### 加藤与五郎展示室のリニューアル

**問** リニューアルの内容は。

**答** 加藤与五郎博士が発明した「フェライト」に関する展示物の更新、照明LED化、映像モニター液晶化等である。また、地元自動車関連企業の協力により、身近な自動車部品にフェライトが活用されていることを紹介する展示も実施している。

**問** 子ども達が展示室を見学する機会はあるか。  
**答** 社会科見学等で地元の児童生徒が展示室を訪れており、休日には親子連れの見学もある。その他「司書」預かり保育」などが話し合われました。



# 魅力ある刈谷

## ～住みたい、住み続けたい刈谷市を目指して、

### ◆市民文教委員会（10月18日～20日）

- 千葉県千葉市 教員の負担軽減について
- ※東京都調布市 給食の食物アレルギー対策について  
図書館の魅力向上について
- 千葉県船橋市 歴史的資料のデジタル化について

### ◆建設委員会（10月18日～20日）

- ※千葉県柏市 柏の葉スマートシティについて
- 神奈川県逗子市 景観まちづくりについて
- 栃木県宇都宮市 自転車の利活用の促進について

#### 学校給食における食物アレルギー事故防止

－組織的な取り組みと徹底した危機管理－

市民文教委員会委員長 鈴木 浩二

#### 目的

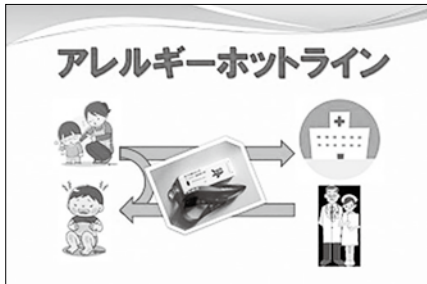
刈谷市の全児童生徒が、安心して楽しい給食時間を過ごせるようになるため、先進市のアレルギー事故防止の取り組みについて学ぶ。

#### 視察内容

調布市では、給食に関わるヒューマンエラー対策として、環境整備、給食指導、研修体制等に力を注いでいる。細部にわたって作成されたルールやマニュアルに沿った対応能力の向上や病院とのホットライン構築など、実施した危機管理体制の強化に組織的に取り組んでいた。今後、医師会と更に連携し、「管理指導表の実態や学校の対応状況」を掘り下げ、除去対応自体を減らす対策なども検討課題としていた。

#### 所感

第一学校給食センターの完成により、刈谷市のセンター方式でのアレルギー対応は強化された。しかし、事故の発生要因は、多くがヒューマンエラーである。マニュアル等を整備し、そのマニュアル等に沿った行動が履行される体制を確保するとともに、大事故を未然に防止するための適切かつ迅速な危機管理体制の強化は、本市においても必要だと感じた。調布市のアレルギー事故防止に向けた様々な取り組みは、参考にすべき点が多く、有意義な視察であった。



調布市アレルギーホットライン

#### スマートシティ実現のための取り組み

－公・民・学が連携した次世代環境都市づくり－

建設委員会委員長 新村 健治

#### 目的

環境問題、少子高齢化などの社会的課題に対して、先進モデル都市における「公・民・学」の連携を研究し、本市のまちづくりに活かす。

#### 視察内容

柏市では、「環境共生都市」「健康未来都市」「新産業創造都市」をコンセプトに、行政、大学、民間企業、市民・NPO等が連携・協働し、地域主体の自立したまちづくりを実践している。また、異なる機能を持つ建物をエネルギーネットワークでつなぎ、エネルギー利用の最適化を図っている点が、大きな特徴であり、次世代環境都市を目指している。

#### 所感

「公・民・学」の連携によりプロジェクトが計画的に進められており、コンセプトを実施することへの強い思いを感じた。今回の視察では、環境・基盤を整えることで、人が集まり、まちづくりが進むということを実感することができた。本市には、多くの企業や愛知教育大学があり、公・民・学の連携を活かせる環境がある。「柏の葉スマートシティ」をまちづくりのモデル都市として、本市のまちなかマネジメント構想にある刈谷駅北口開発や銀座AB地区開発にも活かすことができると感じた。



柏の葉オープンイノベーションラボで学ぶ



議会ICTについて学ぶ

本市同様、議会改革の目指すところは「開かれた議会」。議会活動の情報を積極的に発信し、市民の関心を高めることを目的としていた。両議会では、タブレット導入等、ペーパーレス会議を推進し、積極的な情報発信と会議の合理化が図られていた。一方、全ての資料を電子化することの限界やセキュリティ体制の構築を課題に挙げていた。費用対効果を高めこれらの課題を整理し、議会改革につなげていきたい。



議場で記念撮影

・刈谷が快適なまちであるのは、条例などの決まりを議員の方々が話し合っ決めてくれていてからだと思う。選挙権を持ったから、投票に行きたいと思う。政治は、難しくよく分からないという考え方をやめて、自分から情報を取得していきたいと思った。

◆議会運営委員会で先進都市を視察  
日時 平成29年10月25、26日  
視察項目 議会改革の取り組みについて  
視察先 東京都町田市、神奈川県横須賀市  
◆目的 議会改革調査ランキングの上位に位置する先進市を調査し、議会改革の参考とする。  
◆視察内容 議会ICT化を中心に、導入の背景・経緯・効果・課題の説明を受けた。  
◆所感 本市同様、議会改革の目指すところは「開かれた議会」。議会活動の情報を積極的に発信し、市民の関心を高めることを目的としていた。

◆中学3年生が議会を体験  
市内の中学3年生が、「地方自治制度学習」として、本市議会を訪れました。  
生徒は図書館の新設条例を題材に、その賛否を議論しました。討論では、図書館を新設することにより、勉強できる機会が増えるといった意見や、市内に3カ所も図書館があるため、その予算を他の事業の費用とした方がよいので反対との意見が出るなど、白熱した討論が展開されました。  
◆生徒の感想  
・議会は、遠いものだと感じていたが、市民でも簡単に議会を見ることができ、非常に身近に感じた。  
・かりやっこページを見ることができ、身の回りの多くのことが、地方自治によって動いていることを知り、驚いた。

### 議会トピックス



# 一般質問

## 市政のようを問う

この定例会では、12月6日から8日までの3日間で、22名が登壇し、50項目にわたり、市政全般についてただす一般質問が行われました。

一人二項目を要約し、掲載します。

### 一般質問項目（発言順） ※印が掲載した項目です。

- 野村 武文 議員 ※1 法人市民税引上げと健全財政について
- 山内 昌彦 議員 ※1 イベント開催と地方自治体の狙いについて
- 山内 昌彦 議員 ※2 パブリックコメント手続き制度について
- 山内 昌彦 議員 ※3 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※4 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※5 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※6 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※7 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※8 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※9 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※10 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※11 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※12 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※13 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※14 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※15 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※16 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※17 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※18 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※19 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※20 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※21 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について
- 山内 昌彦 議員 ※22 刈谷市路上喫煙の防止に関する条例について

一般質問のすべての質問・答弁がホームページから映像でご覧になれます。「刈谷市議会」で検索し、「議会映像を見る」をクリックしてください。

**野村 武文 議員**  
(主な答弁者・・・企画財政部長)  
法人市民税が一部国税化されても、健全財政の維持を補助金や基金等を活用し、市民生活に影響のないよう努める。

**問** 法人市民税一部国税化による影響額は。  
**答** 平成26年10月1日事業分から始まっており、法人市民税は、27年度が約4億8千万円、28年度が約12億1千万円の減額である。

**問** 法人市民税の税率が平成31年度には、9.7%から6.0%になる見込みである。国税

**問** 本市における女性の就業状況は。  
**答** アンケート調査の結果、20代では正社員、30代では無職、40・50代では非正規雇用の女性が最も多い状況である。30代で無職になる要因は主に結婚・出産である。

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

**問** 就業意欲のある女性が、ライフイベント等を理由に退職

後、28年度に地元同意が得られたため、29年度より事業に着手することとなった。本事業により、洪水吐と堤体の補強等を行い、決壊被害等を抑制する。

**問** 今後の工事のスケジュールは。  
**答** 30年度に池の外側の地盤改良工事、31年度は池の中側の地盤改良工事、32年度は老朽化した洪水吐の改修工事と緊急放流施設の設置工事、33年度は堤

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。

**問** 今後の工事のスケジュールは。



防災ダム事業が進む岩ヶ池

**新村 健治 議員**  
(主な答弁者・・・福祉健康部長)  
高齢者の健康増進を図るため配食サービスの充実を今後ともサービスを通して食の確保とともに安否確認を行う。

**問** 高齢者のみの世帯などを対象とした配食サービスがあるが、一般食の利用者数の推移は。  
**答** 平成26年度は370人、27年度は333人、28年度は347人である。

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**問** 一般食の提供を週5回、6回とする自治体が増えている中、本市が週3回までとしている理由と配食サービスに対する

**加藤 賢次 議員**  
(主な答弁者・・・都市政策部長)  
北部地域のバス路線を広域的に延伸し、利便性の向上をニーズ調査を実施し、その結果を基に名鉄バスと協議していく。

**問** 高齢社会の進展等に伴い、公共交通の重要性が見直されているが、どう考えているか。  
**答** 市民に欠かすことのできない移動手段になっている。地域生活圏などのニーズを把握し、バス路線等の充実を図っていく。

**問** 北部地区の現況は。  
**答** 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立・愛教大名鉄バスの刈谷・知立・愛教大

**問** 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立・愛教大

**問** 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立・愛教大

**問** 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立・愛教大

**問** 公共施設連絡バス2路線、名鉄バスの刈谷・知立・愛教大

**前田 秀文 議員**  
(主な答弁者・・・産業環境部長)  
岩ヶ池防災ダム事業を推進し、安全性の向上を地元と調整を図り、工事を計画的に行っていく。

**問** 岩ヶ池防災ダム事業の目的は。  
**答** 岩ヶ池の堤体は、耐震調査の結果、安定性が不足しているため、平成21年度に耐震改修の事業計画を策定した。その

**問** 岩ヶ池の堤体は、耐震調査の結果、安定性が不足しているため、平成21年度に耐震改修の事業計画を策定した。その



- 上田 昌哉 議員
  - ※1 亀城公園エリアの整備について
  - ※2 刈谷市の自死対策について
- 中嶋 祥元 議員
  - ※1 刈谷市の安全安心に向けた対策強化について
  - ※2 刈谷の将来のまちづくりを見据えて
  - ※3 発達障害のある人への支援について
- 鈴木 絹男 議員
  - ※1 第7期介護保険事業計画について
  - ※2 刈谷市の産業振興施策について
  - ※3 地域活動の諸課題について
- 渡邊 妙美 議員
  - ※1 第7期介護保険事業計画について
  - ※2 刈谷市の産業振興施策について
  - ※3 地域活動の諸課題について
- 星野 雅春 議員
  - ※1 第7期介護保険事業計画について
  - ※2 刈谷市の産業振興施策について
  - ※3 地域活動の諸課題について
- 山本 シモ子 議員
  - ※1 保育所入所大改変の疑義について
  - ※2 国保加入者のいのちと医療を守る施策の充実について
  - ※3 貧困と格差の是正について

れることである。

**問** 指定管理者制度を導入することで成果をあげている図書館もあるが、今後導入の考えは。

**答** 大府市のように指定管理者制度の導入により住民サービスが向上し、来館者が増加するなど大きな成果をあげている事例もあることから、今後も指定管理者制度導入の可能性も含め、魅力ある図書館としていくための調査研究をしていきたい。

**鈴木 正人 議員**  
**重原幼稚園跡地に建設する保育園の募集定員数は130人以上の定員規模で募集していきたい**

**問** 重原幼稚園跡地における保育園整備の事業主体は。

**答** 国や県の費用負担が見込めることから、休日保育や一時保育など、保護者の多様なニーズに対応することができるとして、福祉法人等の民間事業者による運営を考えている。

**問** 整備スケジュールはどのようになっているか。

**答** 平成30年度については、幼稚園の夏休み期間を利用して、用地の造成工事を行い、3月の幼稚園閉園後、速やかに園舎の解体工事に入る計画となっている。31年度については、8月までに解体工事を終了し、その後、運営主体となる民間事業者に新園舎の工事を行っていただく計画となっている。

**黒川 智明 議員**  
**大規模災害発生時に活躍できる自主防災組織を市内全域の防災力の向上を図っていく**

**問** 刈谷市地域防災計画では、自主防災組織を設け、各活動を組織的に行うことが重要と記載されている。今年度行った自主防災体制の育成強化の内容は。

**答** 各地区で安否確認から避難所開設までの訓練を行った。様々な被災がほぼ同時発

**問** 各地区で安否確認から避難所開設までの訓練を行った。様々な被災がほぼ同時発

り組みを自主防災推進会議などで共有し、自主防災組織として

**新海 真規 議員**  
**アルコール健康障害に対する積極的な支援を**  
 —今後も県と連携を図り、各種取り組みを進めていく—

**問** アルコール健康障害に関する相談状況は。

**答** 衣浦東部保健所における刈谷市民の相談件数は昨年度実績で家庭訪問2件、面接8件、電話10件である。今年度より刈谷病院の医師、保健所職員、刈谷断酒会の方を相談スタッフとして、アルコール専門相談を年3回スタートし、受診や自助が

**加藤 峯昭 議員**  
**婦人会が行う結婚支援事業の活性化を**  
 —各方面との協働・連携ができるよう支援する—

**問** 本市が取り組む結婚支援対策は。

**答** 本市では、行政が直接的に出会いの場や啓発イベントを開催するのではなく、結婚への関心を高める環境の整備に努め、企業や関係団体等と連携を図っている。現在、婦人会が行う結婚支援事業に対し、補助を行っている。

**問** 婦人会が行う結婚支援事業の内容は。

**答** 平成28年度に刈谷市商工会議所との協働により、バスツアーを実施し、男女各20名が参加された。今年度については、バスツアーに加え、バスツアー後にフォローアップのための食事会も予定していることである。



婚活バスツアー

**伊藤 幸弘 議員**  
**大規模災害発生時における医療救護体制の充実を**  
 —今後も各医療救護所での訓練や関係機関との調整を行っていく—

**問** 医療救護体制の仕組みは。

**答** 最大5カ所に設置する医療救護所、医師らがトリアージと応急処置を行う。その結果、医療機関での治療が必要な場合は後方支援病院へ、重症患者は災害拠点病院へ搬送される。

**問** これまでに行なった医療救護所訓練での課題は。

**答** 各救護所からの情報集約

**鈴木 浩一 議員**  
**自動車の安全技術向上・技術普及による交通事故抑止を**  
 —技術の進展を見据え、今後の活用方法を検討する—

**問** 全国初となるレベル4の自動運転実証実験が平成29年10月に本市で行われたが、その内容と結果は。

**答** 岩ヶ池公園内の管理用道路、約500mで車載カメラ・センサー・3Dマップを基に、時速20kmの条件下で遠隔型の自動運転実験を実施。ドライバーがいない状態で、安定・スムーズ

**櫻谷 勝 議員**  
**無年金者救済法による対象者全員が年金を受給できるよう期待**  
 —現在、対象の7割の方が手続き中である—

**問** 無年金者救済法が平成29年8月1日に施行され、必要な加入期間が25年から10年に短縮された。対象の386名のうち何名から請求書の提出があったか。

**答** 11月14日現在で、291名の方から年金事務所に提出があった。

**問** この法律の成立により受給できると分かった方も多く、大きな成果と言えるが、その内訳はどのようか。

**答** 291名のうち、245名が今回の期間短縮により受給



無年金者救済法が施行

**山内 智彦 議員**  
**ビックイイベントの開催により、世界の人に刈谷市のPRを**  
 —産業人材の育成を図り、「ものづくりのまち刈谷」をPRする—

**問** 10月にアラブ首長国連邦アブダビで開催された技能五輪国際大会での、市内企業の成績は。

**答** 日本代表45名のうち、市内企業の選手は12名で、金メダル5名、銀メダル1名、銅メダル2名、敢闘賞3名という素晴らしい成績であった。

**問** 今後の大会の動向は。

**答** 2019年、20年に愛知県での全国大会の連続開催が決定している。メイン会場は、常滑市に新設される愛知県国際展示場が予定されており、本市が会場となる可能性は低いと考えられている。また、厚生労働省は、2023年に愛知県を開催地とする国際大会の誘致を表明している。



神谷 昌宏 議員

刈谷市路上喫煙防止に関する条例を制定する狙いは

互いに助言・協力し合える環境を整備し、市民意識の向上を図る

現在、条例骨子案に対するパブコメが実施されている。3月議会に条例案が上程されると思うが、制定する理由は、刈谷駅利用者から吸殻の散乱状況や受動喫煙による健康被害への懸念など、多くの意見が寄せられているためである。

調査・研究を重ねて素案を作成後、桜自治会を初めとした6団体や環境審議会での意見を取り入れて作成している。県内の条例制定状況は、安城市など7市で制定され、



受動喫煙のない社会を目指して

上田 昌哉 議員

刈谷城建設費が当初計画を越える場合の対応は

今後の実施設計及び検討委員会で決定していく

平成24年を起点にすると、労務単価が約30%上昇していると聞いている。刈谷城の整備費が当初計画の30億円に納まらない場合はどのように対応するか。

建設費と整備内容については、今後予定している実施設計の中で精査し、検討委員会などの意見を参考に決定していく。労務単価が高い時期に建設することは、最小の経費で最大の効果を挙げなければならぬとする地方自治法第2条第14項の精神に反するのではないか。

中嶋 祥元 議員

市民の安全安心に向けた対策強化を

関係機関と連携を図り、市民の安全安心の確保に努めていく

集合住宅とその駐車場への安全強化対策の考えは、

駐車場への防犯カメラの設置費を補助しており、

自転車などが安全に車道を通



刈谷城復元イメージパース

した転用を検討し、安全な歩行空間の確保に努める。

植栽帯、路肩の除草等について、管理者の異なる道路も関係機関と調整を図っていく。

鈴木 絹男 議員

将来に向けたまちづくりを見据え、合併により大きな行政圏構築を

同じ方向性を共有できるのであれば、協議していく考えはある

先行き不透明な時代の中、持続可能な市民の暮らしの確保を目指すなら、刈谷市の枠を超えて、合併を視野に大きな行政圏の構築も必要だと考えるが、今後の戦略は。

将来を見据え、健全財政を維持している強みを活かし、次の時代の施策に取り組みしていきたい。

まずは、衣浦定住自立圏内であり、資源を補完しあうことができ、より発展が望める東浦町との合併を進めるべきかと思うが、どう考えるか。



衣浦定住自立圏共生ビジョン

渡邊 妙美 議員

要介護認定を受けた高齢者の在宅医療と在宅介護の充実を

定期巡回・随時対応型訪問介護看護を行う事業所の整備を検討

要介護状態となっても自宅で生活するためには在宅医療・介護連携の充実が求められるが今後の取り組みは。

在宅医療・介護連携支援センターを設置し、医療・介護関係者からの相談の受付、連携調整、情報提供等を行う。また、医療機関や介護事業所等の資源の把握と、在宅医療と在宅介護

定期巡回・随時対応型訪問介護看護については事業所の整備を計画する予定である。

星野 雅春 議員

民間や地域住民と知恵を出し合い、行きたくなる公園づくりを

皆様のご意見を伺いながら魅力的な公園づくりを進める

フローラルガーデンよさみが日本公園緑地協会会長賞を受賞したのは、指定管理者、地域住民、ボランティアの努力の賜物である。公園の外周は他の公園と違い、ゴムチップで舗装されているが、その理由は。

フローラルガーデンよさみは、地域住民の声を受け、外周を本格的なジョギングコースとしたため、体への負担が少ないゴムチップ舗装を行った。

ウォーキングは健康を高める大切な手段の一つだが、市

民への啓発活動を行っているか。ウォークの体験会や「刈谷GOウォーキング」などを開催している。

山本 シモ子 議員

高齢者、子育て世帯の水道料金を減免し、暮らしの応援を

県下でも安価な料金設定であり、減免は考えていない

水道は、暮らしに欠かせないもの。料金滞納により給水停止になった件数は、

平成28年度が214件、今年度が11月1日現在で143件である。

滞納者などへの自宅訪問等は、誰が行っているのか。

民間の委託業者ヴェオリア・ジェネッツ株式会社である。

消費税の負担が暮らしに重くのしかかっている現状を緩和させる必要がある。市民の消費負担はどうなっているか。

給水収益に対する消費税



水道使用水量の検針

編集後記

かけはし

市議会だより第143号では、昨年12月の定例会の内容を掲載しています。一般質問では、過去最多となる22人の議員が福祉、教育、防災、環境など多岐にわたって市政をただしました。この模様はケーブルテレビキャッチで放送されました。現在は、市議会ホームページからもご覧いただくことができます。

「期待」というキーワードで3つの事柄について触れてみますと、1月には新成人の集いが開催され、期待と不安が入り混じる中、1,669名が大人の仲間入りすることに希望を持ち、胸を膨らませて出発しました。

今後市議会は皆様の声をしっかりと受け止め、実現に向け全力で取り組み、その活動を市議会だよりにて、わかりやすく伝えることができるよう努めてまいります。結びに、是非議会への傍聴にお出かけいただき、議員の発言や、市当局とのやり取りをご覧いただきたいと思います。

韓国・平昌において、2月には冬季オリンピックが、3月には

(議会広報委員会)